

2019年3月期 決算補足資料

2019年5月10日
住友理工株式会社

1. 2019年3月期 連結経営成績〔IFRS〕(2018年4月1日～2019年3月31日)

① 連結損益計算書

(単位: 億円)

	2018年3月期	2019年3月期	前期比	
売上高	4,629	4,697	+68	+1.5%
事業利益*	129	94	-35	-27.1%
その他の収益・費用	△7	△82	-76	-
営業利益	122	12	-110	-90.5%
金融収支	△9	△5	+5	-
税引前当期利益	113	7	-106	-93.8%
法人所得税費用	△55	△36	+19	-
当期利益	58	△29	-87	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	35	△50	-85	-
非支配持分	23	21	-2	-

* 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を含めて算出しております。

② 事業セグメント別業績

(単位: 億円)

		2018年3月期	2019年3月期	前期比	
売上高	自動車用品	3,934	3,982	+47	+1.2%
	一般産業用品	694	715	+21	+3.0%
	連結計	4,629	4,697	+68	+1.5%
事業利益	自動車用品	98	78	-20	-20.4%
	一般産業用品	31	16	-15	-48.0%
	連結計	129	94	-35	-27.1%

③ 所在地セグメント別業績

(単位: 億円)

		2018年3月期	2019年3月期	前期比	
売上高	日本	2,130	2,140	+10	+0.5%
	米州	1,028	1,053	+25	+2.4%
	アジア	1,404	1,446	+42	+3.0%
	欧州その他	607	593	-14	-2.3%
	消去又は全社	△541	△535	+5	-
	連結計	4,629	4,697	+68	+1.5%
事業利益	日本	△1	△11	-10	-
	米州	23	△9	-32	-
	アジア	131	134	+3	+2.6%
	欧州その他	△15	△10	+5	-
	消去又は全社	△9	△10	-1	-
	連結計	129	94	-35	-27.1%

(注) 各セグメントには、セグメント間取引消去前の数値を表示しております。

④ 為替レート(期中平均)

	2018年3月期	2019年3月期	前期比	
円/米ドル	110.86	110.92	+0.06	+0.1%
円/ユーロ	129.71	128.42	-1.30	-1.0%
円/人民元	16.75	16.54	-0.21	-1.3%
円/タイバート	3.36	3.43	+0.07	+2.2%
円/メキシコペソ	5.99	5.74	-0.26	-4.3%
円/ブラジルリアル	34.48	29.38	-5.10	-14.8%

(注) 金額や増減率等の数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

2. 業績の概要

(1) 売上高

4,697億円 (前期比1.5%増) ※ 過去最高の売上高

<概況>

① 自動車用品 3,982億円 (前期比1.2%増)

- ・ 日本では、軽自動車の生産台数増加を背景に増収
- ・ 中国、タイでは、上期の日系自動車メーカーの生産が高水準だったことにより増収
- ・ 米国では新製品拡販等により増収だった一方、アルゼンチン自動車市場縮小の影響でブラジル拠点の売上が下期に減速
- ・ 欧州では、新排ガス試験法 (WLTP) 導入や景気減速による自動車生産減少の影響で減収

② 一般産業用品 715億円 (前期比3.0%増)

- ・ 中国におけるインフラ投資拡大により建設・土木機械の需要が増加し、高圧ホースが増収
- ・ プリンター向け機能部品や鉄道部品は、需要減少の影響により減収

(2) 事業利益

94億円 (前期比27.1%減)

<概況>

① 自動車用品 78億円 (前期比20.4%減)

- ・ 米国では、人手不足による生産性悪化が継続したことに加え、鋼材価格上昇により原材料コストが増加
- ・ アルゼンチン自動車市場縮小の影響を受けたブラジル拠点の収益性が悪化
- ・ メキシコでは、新製品立ち上げコストが増加
- ・ 欧州では売上が減少したものの、コスト低減により赤字縮小

② 一般産業用品 16億円 (前期比48.0%減)

- ・ プリンター向け機能部品や鉄道部品の販売が減少、生産性が低下

(3) 営業利益

12億円 (前期比90.5%減)

- ・ 事業環境変化に伴う収益性低下により、欧州子会社に対するのれん、無形資産の減損やメキシコ、ブラジル子会社等において固定資産減損を実施し、減損損失72億円を計上

3. 2020年3月期 連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
2020年3月期予想							
第2四半期累計	2,300	30	25	20	10	5	4.82
通期 (A)	4,700	100	80	70	40	20	19.26
2019年3月期通期実績 (B)	4,697	94	12	7	△29	△50	△48.37
前期比増減額 (A-B)	+3	+6	+68	+63	+69	+70	+67.63
増減率	+0.1%	+6.6%	6.9倍	10.0倍	-	-	-

- ・ 各国で自動車生産台数が停滞すると見込み、売上高はほぼ前年並みを予想
- ・ 米国、メキシコ、ブラジルなど生産性が悪化した米州拠点や、日本・欧州の赤字拠点を中心に、収益力回復に取り組む

以 上